

平成28年省エネルギー基準評価対象製品性能一覧

算定対象となるエネルギー消費用途: 暖冷房(外皮:ガラス・建具ごとの日射熱取得率)

・大部分がガラスで構成される開口部の日射熱取得率を示します。
 ・こちらの対象製品性能一覧は、一般社団法人 住宅性能評価・表示協会運営の「温熱・省エネ設備機器等ポータルサイトに登録済みです。
 ・下記製品は構造・形状等での性能確認が可能であるため、上記ポータルサイトにおける性能確認区分は全て「-」となります。

ガラスの仕様		「建具の仕様」毎の日射熱取得率[η]※10							ガラスの仕様 の区分 ※5	LIXIL適合ガラス
		・樹脂製建具 ・木製建具			・樹脂(木)と金属の複合材料製建具 ※2 ・金属製熱遮断構造建具 ※3 ・金属製建具 ※4					
		付属部材なし	和障子	外付け ブラインド ※1	付属部材なし	和障子	外付け ブラインド ※1			
三層 複層	ダブルLow-E三層複層 ※6	日射取得型 ※7	0.39	0.24	0.09	0.43	0.27	0.10	6	-
		日射遮蔽型 ※8	0.24	0.16	0.06	0.26	0.18	0.06	3	・トリプルガラス クリア×クリア ・トリプルガラス グリーン×グリーン ・トリプルガラス クリア×グリーン ・トリプルガラス クリア×ブロンズ 〔販売エリア限定商品〕 ・トリプルガラス ブロンズ×ブロンズ 〔販売エリア限定商品〕
	Low-E三層複層	日射取得型 ※7	0.42	0.27	0.10	0.47	0.30	0.11	6	・トリプルガラス 一般×クリア(防犯乳白合わせ除く)
(二層) 複層	Low-E複層	日射遮蔽型 ※8	0.27	0.18	0.07	0.30	0.20	0.08	6	・トリプルガラス 一般×クリア(防犯乳白合わせ)
		日射取得型 ※7	0.46	0.27	0.11	0.51	0.30	0.12	3	・Low-E複層ガラス クリア(防犯乳白合わせ除く)
	遮熱複層	日射遮蔽型 ※8	0.29	0.19	0.08	0.32	0.21	0.09	4	・Low-E複層ガラス クリア(防犯乳白合わせ) ・Low-E複層ガラス グリーン ・Low-E複層ガラス グリーン(高遮熱型) ・Low-E複層ガラス ブロンズ 〔販売エリア限定商品〕
		熱線反射ガラス1種	0.44	0.24	0.10	0.49	0.26	0.11	1	-
	複層	熱線反射ガラス2種	0.27	0.17	0.07	0.30	0.19	0.08	1	-
		熱線反射ガラス3種	0.12	0.09	0.04	0.13	0.10	0.05	1	-
		熱線吸収板ガラス2種	0.37	0.20	0.09	0.42	0.22	0.10	3	-
	単板2枚を組み合わせたもの ※9	0.57	0.27	0.12	0.63	0.30	0.14	2	・一般複層ガラス	
単層	単板	熱線反射ガラス1種	0.57	0.27	0.12	0.63	0.30	0.14	2	・ダブルルーバー窓、ルーバー窓IF用ガラス
		熱線反射ガラス1種	0.49	0.25	0.12	0.54	0.28	0.13	1	-
		熱線反射ガラス2種	0.35	0.22	0.09	0.39	0.24	0.10	1	-
		熱線反射ガラス3種	0.17	0.14	0.06	0.18	0.16	0.06	1	-
		熱線吸収板ガラス2種	0.45	0.24	0.11	0.50	0.27	0.12	1	-
		熱線反射ガラス又は 熱線吸収ガラス以外	0.63	0.27	0.14	0.70	0.30	0.15	1	-

※1 LIXIL製品では『外付ブラインド EB』『目隠し可動ルーバー面格子』が適合します。

※2 「樹脂(又は木)と金属の複合材料製建具」とは、屋外側の大半に金属、屋内側の大半に樹脂(又は木)を使用した構造をいいます。

※3 「金属製熱遮断構造建具」とは、金属製の建具で、その枠及び框等の中間部に樹脂等の断熱性を有する材料で接続した構造をいいます。

※4 「金属製建具」とは、アルミニウム合金等の金属で構成された構造のものであり、枠等の一部にプラスチック等を使用した構造のものを含みます。

※5 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「3-3外皮の日射熱取得、ガラスの仕様の区分」に応じた区分値です。

※6 「ダブルLow-E三層複層」とは、2枚以上のガラス表面にLow-E膜を使用したLow-E三層複層ガラスのことをいいます。

※7 「日射取得型」とは、JIS R 3106に定めるガラス中央部の日射熱取得率が0.50以上のものをいいます。

※8 「日射遮蔽型」とは、JIS R 3106に定めるガラス中央部の日射熱取得率が0.49以下のものをいいます。

※9 「単板2枚を組み合わせたもの」とは、中間部にブラインドが設置されたものを含むものとします。

※10 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の日射熱取得率(窓等の大部分がガラスで構成される開口部)の垂直面日射熱取得率(木製建具又は樹脂製建具)、(木と金属の複合材料製建具と金属の複合材料製建具、金属製熱遮断構造建具又は金属製建具)の表による。